

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月25日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【個人線量計およびガラスバッジの一時不携帯について】 車両誘導員が、構内駐車場に駐車した車内にて、構内作業服、クールベストを脱衣。入退域管理棟に徒歩で移動し、退域処理時、クールベストに収納されている個人線量計およびガラスバッジを車内に置き忘れたことに気づく。 当事者の個人線量計およびガラスバッジについては、他の作業員が回収して退域処理を実施。今後、線量評価・入域データ評価後、入域データを修正予定。 また、当事者への嚴重注意と再発防止策を検討し周知予定。 ※本不適合は、個人線量計およびガラスバッジの一時不携帯について審議されたものであり、指定場所以外での防護服着脱行為については、近日中に別途、審議予定。</p>	G II	7月22日
2	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機用海水系の凍結防止ヒータケーブル被覆損傷について】 当直パトロール時に、5号機非常用ディーゼル発電機用海水系の凍結防止ヒータケーブルの保護被覆に損傷を確認。 ケーブル保護被覆の経年劣化と推定。 凍結防止ヒータの電源OFF並びにケーブルの外観確認を行いテープで養生を実施。 なお、凍結防止ヒータ適用期間外のため、系統への影響はなし。</p>	G III	7月18日
3	<p>【ガラスバッジの一時不携帯について】 構内巡回バス運転手が車内にてガラスバッジの首紐を外し、入退域管理棟へ移動。個人線量計を返却し退域処理後、ガラスバッジを車内に置き忘れたことに気づきガードマンに連絡。 当事者のガラスバッジについては、他の作業員にて回収済み。 当事者への嚴重注意と再発防止策を周知済み。</p>	G III	7月22日
4	<p>【3号機原子炉注水系の注水ライン流量計の不具合について】 計装品点検において、3号機原子炉注水系の注水ライン流量計に計器誤差の精度はずれの不具合を確認。 計器校正を行い計器誤差を精度内に調整。 当該計器は、通常監視計器ではないため、原子炉注水量の監視に影響はなし。</p>	G III	7月23日